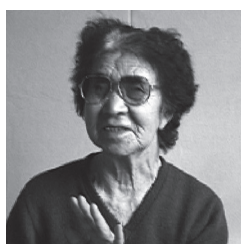


アイヌ民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

第3話 神 謡

アカショウビンになった メナシの女

収 録 日：1994 年 10 月 2 日

資料番号：35225B

添付 CD：1-3（7 分 38 秒）

第3話 神謡⁽¹⁾「アカショウビンになったメナシの女」⁽²⁾

(V =ヘイヌ heinu 折り返しのフレーズ)

V ポンサラ ウン クル⁽³⁾

Ponsar un kur

小沙流 の 人

小沙流の人を

V チオレポレ…

ci=orepore…

トントントン叩いた…

(言い直し)⁽⁴⁾

V ポンサラ ウン クル

Ponsar un kur

小沙流 の 人

小沙流の人の

V キク… キリケウ カシ

kik… kirkew kasi

ひざ の上

ひざの上を

5 V チオレポレ

ci=orepore

(私)トントントン叩く

トントントン叩きながら

V エネ イタカン ヒ。

ene itak=an hi.

このように 言う(私) こと

私はこのように言いしました。

V “メナシ ウン マツ アナク

“Menas un mat anak

メナシ の 女 は

「メナシ⁽⁵⁾の女はV イコロ⁽⁶⁾ アサム タ

ikor asam ta

宝物 底 に

宝物の底に

V チュコセシケ プ

ci=ukoseske p

(人)互いに隠す もの

内緒の隠し物の財産を

-
- 1 1994年10月2日、アイヌ民族博物館ポロチセで開催されたアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」での口演。解説は千葉大学中川裕氏。この物語のジャンルについて話者の上田トシ氏は「メノコユカラ menokoyukar」と言っている。(沙流川中流での言い方で、下流及び鶴川等でカムイユカラ kamuyyukar と呼ばれる)
- 2 語りに先立って、上田トシ氏は「おとといの雨の日から習い始めた」と語っている。おそらく、田村すず子編著『早稲田アイヌ語音声資料5—二風谷の昔話と歌謡・神謡—』所収「小沙流の人の膝の上を」(話者：平村つる)(pp.67-73)のテープを聞いて覚えたものと思われる(以下「同書」と略す)。本書の対訳もこれを参照している。また同書に「この神謡とよく似た内容の神謡が、久保寺逸彦編『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』に筆録されている[神謡 52 (pp.241-243)]」(同書 p.73)と。
- 3 中川裕氏は「(メナシの女が)若い沙流川の男を口説いている(話)」と解説している。
- 4 一行抜けたので言い直したものだ。
- 5 静内より東の地方をさす。
- 6 同書によると「ikor は間違いで、suwop 《箱》が正しいと歌手のつるさん自身が言っている。su-wop asam ta は《箱の底に》」(同書 p.67 注3)

- 10 V コロ ペ ネ ナ。
kor pe ne na.
を持つ もの だ よ 持っているのです。
- V イコロ アサム タ
ikor asam ta
宝物 底 に 宝物の底に
- V シユク⁷ ウウエウンペ
siyuk uweunpe
装束する 一揃いの太刀 立派な一揃いの宝刀を
- V コロ ペ ネ ナ
kor pe ne na
を持つ もの だ よ 持っているのです。
- V …アレンカレンカ…ヒ…
…a=renkarenka…hi…
- 15 (アピリカレンカピ)⁸
(apirkarenkapi)
私の考えたとおりに (私の考えたとおりに)
- V イコレンカ ワ
i=korenka wa
(私に)を承知し て 承知して
- V イコロパレ ヤン
i=korpare yan
(私に)ください 下さい。
- V イコラムオシマ ヤン
i=koram'osma yan
(私に)同意して ください どうか承知して下さい。
- V アピリカイトク
a=pirkaitak
(私の)良い言葉 私のいい話(求婚)を
- 20 V エコラム… エコパン ヤ?
e=koram... e=kopan ya?
(お前)拒む か あなたは断るのですか?
- V エコパン⁹ ヤクン
e=kopan yakun
(お前)拒む ならば 断るのなら
- V エコツチャケ タ
e=kotcake ta
(お前の)前 に あなたの前に

7 同書ではシサク sisak「珍しい」だが、シユク siyuk「装束(する)」もありえる(実際の音声はチユク ciyuk と聞こえる)。

8 言葉が出てこなかった模様。田村 1988 では apirkarenkapi(私の考えたとおりに)となっている。

9 同書では(イ)エコアン ヤクン (i)ekoan yakun「厳しい談判を受けたなら」。「女性からのプロポーズを受けて人から非難されたら私が償います」が元々の内容。

- V イレンカトウイエ
Irenkatuye
罰金を出して謝る
- V アキ クス ネ ナ。
a=ki kusu ne na.
(私)し ます よ
- 25 V エコパン ヘ キ
e=kopan he ki
(お前)拒み でも する
- V イコラムオシマ ヘ キ”
i=koram'osma he ki”
(私に)同意する でも する
- V セコロ イタカン アワ
sekor itak=an awa
と 言う(私) したが
- V ネプ カ ウエン イタク
nep ka wen itak
何 か 悪い 言葉
- V アイェ ロク ペコロ
a=ye rok pekor
(私)言っ た かのよう
- 30 V コロ ウエン プリ
kor wen puri
その 悪い ふるまい
- V ナン クルカシ
nan kurkasi
顔 の上一帯に
- V チオピラサ
ciopirasa
広がる
- V ホントモ タ
hontomo ta
途中 に
- V マッコサヌ
makkosanu
ぱっと
- 35 V ソサムウシペ⁽¹⁰⁾
sosam'uspe
壁掛けの太刀
- 罰金を出して謝り
- ます。
- あなたは断るのですか
- 承知するのですか」
- と私は言いましたけれど
- 何か悪口でも
- 私が言ったみたいに
- その腹立ちを
- 顔のおもてに
- あらわしました。
- そのさなかに
- ぱっと
- 脇の壁に掛かった刀を

10 同書ではソサモツペ sosamotpe。意味は同じ。

V テクサイカレ
teksaykare
手に取る

手にとり

V ヤイシリコオツケ。
yaysirkootke.
自分を激しく突き刺す

自分で自分の体を刺しました。

V サマ タ アラパアン ヒネ
sama ta arpa=an hine
そのそばに 行く(私) して

そのそばに私は行って

“ナニ エライ クス ネ ヤクン⁽¹¹⁾
“nani e=ray kusu ne yakun
すぐ (お前)死ぬ の ならば

「あなたがすぐに死ぬことになっているのなら

40 エムシペ ケムコヤワウセ⁽¹²⁾ ナンコロ。
emusipe kemkoyawawse nankor.
刀身 血が乾く だろう

刀についた血が乾いているでしょう。

エシクヌ クス ネ ヤクン
e=siknu kusu ne yakun
(お前)生きる の ならば

生きることになっているのなら

エムシペ ケムコトクトツケ...⁽¹³⁾
emusipe kemkotoktokke...
刀身 血がどろりとなる

刀についた血がどろりとなる

ナンコン ナ。 ”
nankor_ na.
だろう よ

でしょうから」

セコロ イタカン コロ エムシ アエタイエ アクス
sekor itak=an kor emus a=etaye akusu
と 言う(私) ながら 太刀 (私)を引い たところ

と言いながら刀を引き抜きますと

45 エムシペ ケムコトクトツケアン⁽¹⁴⁾
emusipe kemkotoktokke=an
刀身 血がどろりとなる(人)

刀の血はどろりとなりました。

“ナニ エライ クス ネ ヤクン
“nani e=ray kusu ne yakun
すぐ (お前)死ぬ の ならば

「すぐにあなたが死ぬのでしたら

アシヌマ カ ライアン クス ネ ワ ”
asinuma ka ray=an kusu ne wa”
自分 も 死ぬ(私) します よ

私も死にますわ」

11 以下メロディなしでの語り。

12 話者の説明では「乾いていること」と。同書では「乾いてどろりとなる」と。

13 同書ではケムコトウシトウシケ ナ kemkotustuske na。「生血がそのまま流れるでしょうから」。話者自身の説明では「ケムコトウクトウツケ kemkotoktokke っていうのは、エムシemus にどろどろ血がついていた」と。

14 同書では、結果は前者ケムコヤワウセ kemkoyawawke「血が乾いてどろりとなりました」となっているが、話者の語りでは後者となっていて、混乱が見られる。

セコロ イタクアン コロ
 sekor itak=an kor
 と 言う(私) して

と言いながら

ネア エムシ アニ
 nea emus ani
 その 太刀 で

その刀で

50 ナニ ヤイコシリコオツケアン。
 nani yaykosirkootke=an.
 すぐ 自分を激しく突き刺す(私)

すぐに私は自分で自分の体を刺しました。

イテメニ カ タ
 itemeni ka ta
 梁 の上 に

屋根の裏側の梁の上に(魂だけになって)

V⁽¹⁵⁾ ヘモンラチチ⁽¹⁶⁾
 hemonracici
 手をだらんと下げる

私は手をだらんと下げて

V アナン アワ
 an=an awa
 いる(私) したが

いますと

V リクンスイ⁽¹⁷⁾ カリ
 rikunsuy kari
 煙出し穴 を通って

煙出し穴を通して

55 V ソヨテレケアン ワ
 soyoterke=an wa
 外に飛び出す(私) して

私は外へ飛び出しました。

V ウラン ルイカ
 urar_ ruyka
 雲 橋

白い雲が橋になって

V アラパ ルコ
 arpa ru ko
 行く したのは

先へと伸びて行き

V マクナタラ
 maknatara
 あかあかと明るい

あかあかと明るく

V ウラン ルイカ
 urar_ ruyka
 雲 橋

白い雲の橋を

15 再びメロディつきで語られる。

16 「monracici は tekracici ともいう。直訳すると、《手をぶら下げる》。神謡の中で、神である鳥獣が死ぬと、よく木の皮や天上の梁に、体がのって、手足（つまり脚）がだらんと下がっており、神自身はその鳥獣の耳と耳との間に座っている、ということになっている。」（同書 p.69 注）

17 「rikun-suy 《上方の・穴》とは、煙を出すために屋根にあけてある穴」（同書 p.70 注 2）

- 60 V アヤイオテレケ ワ
a=yay'oterke wa
(私) 踐ん で
踏みしめて
- V アラパアン アワ
arpa=an awa
行く(私) したが
はるかにいきますと
- (インネ コタン アン。
(inne kotan an.
人が大勢いる 村 ある
人の大勢住む村がありました。)⁽¹⁸⁾
- V コタンパ ワノ
kotanpa wano
村の上端 から
村の上のはずれから
- V セタ イエミク ワ
seta i=emik wa
犬 (私に) 吠え て
私は犬にほえられました。
- 65 V アラパアン アワ…
arpa=an awa…
行く(私) したが
行きましたが…⁽¹⁹⁾
- V コタンコロクル チセ ソイ タ
kotankorkur cise soy ta
村長 家 の外 に
村長の家の外に
- V アラパアン アワ
arpa=an awa
行く(私) したが
行きましたが
- V メノコボ^o トシカ
menokopo toska
若い娘 群れ
娘たちの一群
- V オッカヨボ^o トシカ
okkayopo toska
若い男 群れ
若者たちの一群が
- 70 V イウタパ コロ オカ。
iutapa kor oka.
杵搦きをし ながら いる
臼を搦いてヒエ搦きをしています。
- V チセ オンナイ ウン
cise onnay un
家 の中 に
家の中に
- V ポンサラ ウン クル
Ponsar un kur
小沙流 の 人
小沙流の人が

18 同書から。「死後の国に着いたわけである」(同書 p.70 注 4)

19 次行が抜けたので言い直したものの。

- V イウエンイヨンヌッパ ハウ
i=wen'iyonnuppa haw
(私に)ひどく告げ口をする 声
訴えている声が
- V カッコク ハウ ネ
kakkok haw ne
カッコウ 声 である
カッコウの声みたいに
- 75 (V オウセ テレケ。
owse terke.
空中へ 跳ぶ
はっきり聞こえます。)⁽²⁰⁾
- (節なし)
V アウオシマアン ルウェ ネ アクス
awosma=an ruwe ne akusu
家に入る(私) こと だっ たところ
私が家の中に入りますと
- (節あり)
V “ネ ヤクン メノコ
“ ne yakun menoko
そう ならば 女性
「そういう女が
- V ホイヨ メノコ
hoyyo menoko
精神の悪い 女性
精神の悪い女が
- V エク ワ ネ ナ。
ek wa ne na.
来 て だ よ
来ているぞ。
- 80 V ニスコタウキ ヤン!
nisukotawki yan!
臼で搗く しなさい
(魂を)臼に入れて鎌で突け!
- V ニスコオツケ ヤン”
nisukootke yan”
臼で突く しなさい
臼に入れて杵で突け!」
- V セコロ ハウアシ ア コロカ
sekor haw'as a korka
と 言っ た けれど
と言いましたが
- V スンケ イタク ネ
sunke itak ne
嘘 言葉 である
でたらめだろうと
- V アヌ ロク アワ
a=nu rok awa
(私)聞い た が
聞いていますと
- 85 V アイニスコタウキ
a=i=nisukotawki
(人が私を)臼で搗く
臼に入れて臼で突き

20 同書から。

V アイニスコオツケ
a=i=nisukootke
(人が私を)白で突く

私は白に入れて杵で突かれました。

V キ ロク アワ
ki rok awa
し た が

やられていると

V モシリカラカムイ
mosirkarkamuy
国造りの神

国造りの神様が

V イケムヌ ヒネ
i=kemnu hine
(私に)同情するして

私をあわれんで

90 V (以下節なし)
ケンポチカッポ²¹ ネ
kempocikappo ne
アカショウビン に

アカショウビンに

イカラ ヒネ
i=kar hine
(私を)し て

私を変えて下さって

アウニ ソイケ タ
a=uni soyke ta
(私の)家 の外 に

私の家の前に

ホシピアン ルウェ ネ
hosipi=an ruwe ne
帰る(私) の です

帰ってきたのでした。

セコロ
sekor
と

と²²

95 メナシ ウン メノコ…
Menas un menoko…
メナシ の 女性

若いメナシの娘…

セコロ。
sekor.
と

とさ。

この続きが

21 ケンポチカッポ kempocikappo 同書では直訳して「赤血鳥」と。話者の上田トシさんは何の鳥か不明と。以下同書より。
「kempocikappo は、《血・(指小辞)・鳥・(指小辞)》。歌手のつるさんは、「雀くらいの、なずき(=額)からくびも赤い鳥」と説明している。後にたずねた貝沢みさをさん、川上松子さん、木村キミさんは、知らないとのことである。久保寺逸彦の記録(「類歌」の項参照)の脚注には uyuike-chir との名が見え、これは知里真志保『分類アイヌ語辞典 動物編』に uyuyke-cir 《アカショウビン》と出ている。」(p.71 注1)

22 口演ではここで一旦中断し、聞き手の解説を挟んでいる。この前後から最後までメロディなしで語られている。「ここまでが赤血鳥の自叙で、次からはト書きとなる」(同書 p.71 注3)

ポン メナシ ウン ポン メノコ
 Pon menas un pon menoko
 小さい メナシ の若い 女性

若いメナシの女

ウトウレシコロペ アネ ヒネ
 utureskorpe a=ne hine
 互いに姉妹を持つもの (私)であっ て

の姉妹が私で

オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの な のに

あったのですが

100 (ヤイライケ ネ クス
 (yayrayke ne kusu
 自殺 だ から

自殺ですから)²³

マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か

どうして

アサ ライ… ネ クス ネ ヤ… ワ
 a=sa ray... ne kusu ne ya... wa
 (私)の姉 死ぬ な の だ か して

私の姉が死んだのか

ライ ニ²⁴ カ アエランペウテク ノ
 ray ni ka a=erampewtek no
 死ぬ ? も (私)わからない で

死んだことも私はわからずに

オツカイポ カ トウラノ ライ ルウェ ネ… ア プ”
 okaypo ka turano ray ruwe ne... a p”
 若い男性 も 一緒に 死ぬ こと だっ た が

若者も一緒に死んだというのに

105 ウフイ イクシペ トウラシ
 uhuy ikuspe turasi
 燃える 柱 に沿って上に

燃えた柱を

ケンポチカッポ
 kempocikappo
 アカショウビン

赤血鳥(アカショウビン)が

ニムニム コロ…
 nimunimu kor…
 登る ながら

のぼったりおりたりしながら

アコロ サポ アエヤイレラプ ナ
 a=kor sapo a=eyayrerap na
 (私)の 姉 (私)に嘆き話をする よ

私の姉が嘆き話をしたのでから

テワノ オカ ペウレ ウタラ
 tewano oka pewre utar
 これから の 若い人 たち

これからの若者たちは

23 同書から。

24 ヒ hi か。

- 110 ネウン ピリカ オツカイポ オシッコテ ヤツカ
 neun pirka okkaypo osikkote yakka どんないい男に惚れても
 どんない いい 若い男性 を好きにな ても
- メノコ オロワノ アナクネ イテキ
 menoko orowano anakne iteki 女のほうからは決して…
 女性 から は 決して
- …ヤイエイコラムコロったかな？
- ヤイエイコラムコロ パクノ
 yayeikoramkor pakno 自分から求婚するのはそれほど
 自分で求婚する ほど
- アシトマ プ ネ ナ。
 a=sitoma p ne na.
 (私)恐れる ものだ よ
- テ ワノ オカ ペウレ ウタラ²⁵
 te wano oka pewre utar これからの若者(娘)たちは
 ここ から いる 若い 人たち
- 115 イテキ オシッコテ オツカヨ アン ヤツカ
 iteki osikkote okkayo an yakka 決して惚れた男がいても
 決して 好きになる 男性 い ても
- ヤヤンノアシ ヤイエイコラムコロ
 yayannoas yayeikoramkor 自分のほうから求婚すること
 自分から 自分で求婚する
- パクノ アシトマ プ ネ ナ
 pakno a=sitoma p ne na ほど恐ろしいものはないのですよ。
 ほど (人)恐れる ものだ よ
- セコロ
 sekor と
 と
- ケンボチカツポ
 kempocikappo アカショウビンが
 アカショウビン
- 120 ニムニム コロ
 nimunimu kor 柱をのぼりおりしながら
 登る ながら
- イトウレシネ ポンメノコ ヌ セコロ。
 ituresne ponmenoko nu sekor.
 妹 若い娘 聞く と その妹である娘が聞いたそうです。

25 同書はメノコ menoko「娘」。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1

発 行 日 2015 年 2 月 28 日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒 059-0902 北海道白老郡白老町若草町 2 - 3 - 4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成 26 年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。